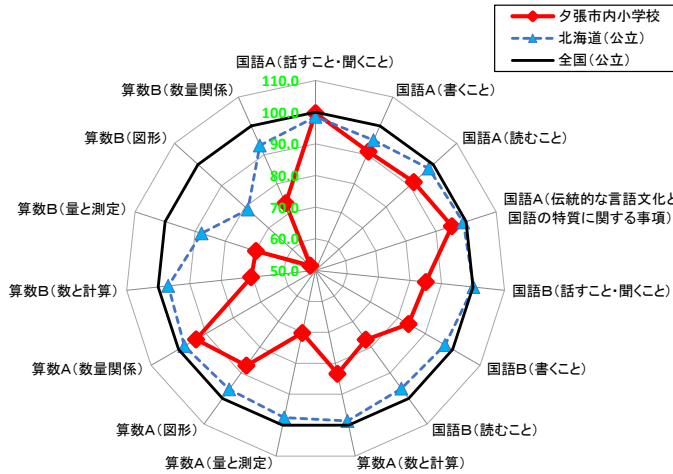


■夕張市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:29人)

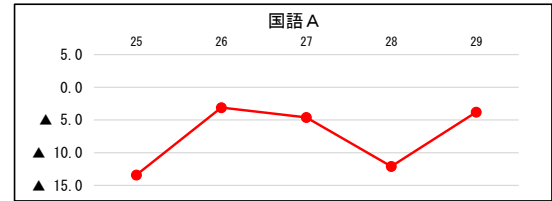
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

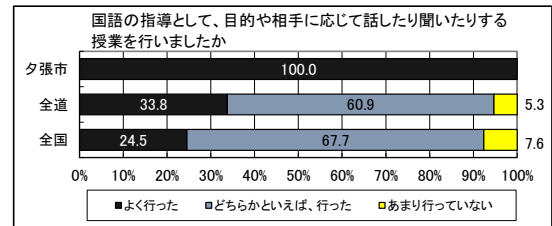
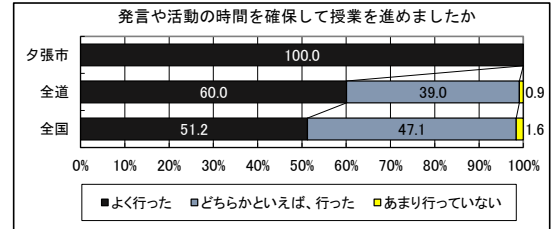


【平均正答率の全国との差の推移】

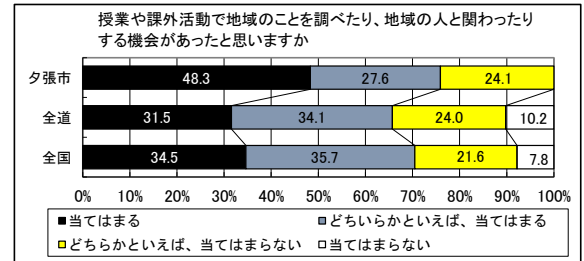
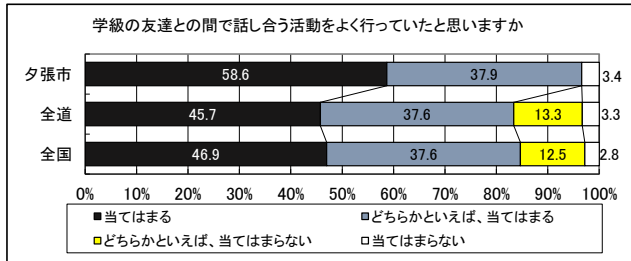
※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発言や活動の時間を確保して授業を進めたり、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったりした結果、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う児童が増え、国語Aで全国の平均正答率との差が縮まったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人材活用によるきめ細かな指導と支援の充実を図った結果、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと回答する児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発言や活動の時間を確保して授業を進めた。 ○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 	

【夕張市の学力向上策】

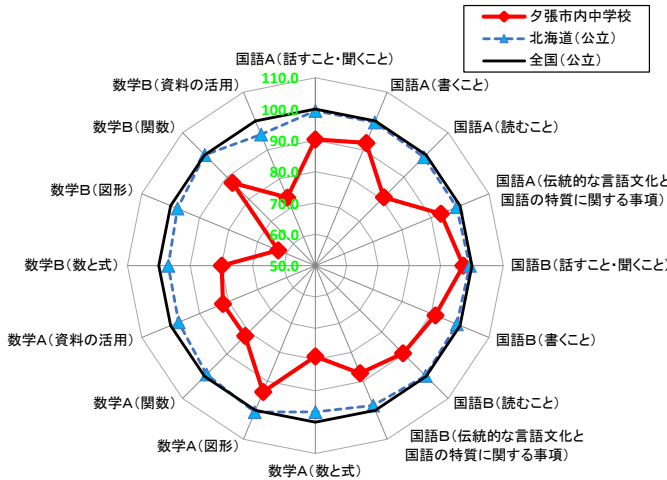
- ◎ 教職員の資質・能力の向上に向けた研修会の開催
- ◎ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)導入による学校支援体制の強化
- ◎ 電子黒板とデジタル教材の活用によるICT教育の充実
- ◎ 幼・小・中・高・高等養護学校の連携による充実した教育の推進
- ◎ ALTの活用及びICTを活用した英語教育の拡充
- ◎ 社会科副読本の活用による特色ある地域学習の推進
- ◎ 炭鉱やメロン栽培の歴史などを学ぶ郷土学習の推進
- ◎ 地域の人材活用によるきめ細かな指導と支援の充実
- ◎ 読み聞かせ活動、巡回文庫、図書まつりの開催等、読書活動の推進
- ◎ 特別支援教育支援員の活用による一人一人の教育ニーズに応じた指導や支援を図るための教育環境の整備
- ◎ Q-Uを活用したよりよい学級づくりと学ぶ意欲の向上

■夕張市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:36人)

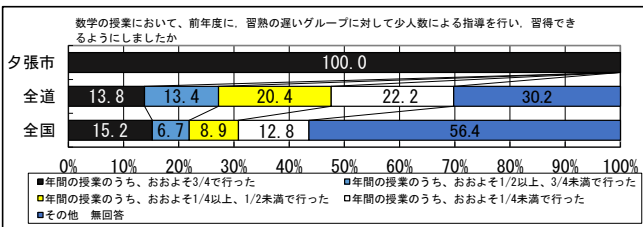
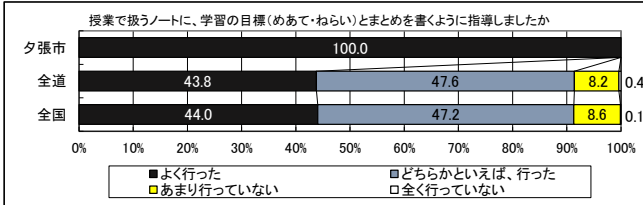
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

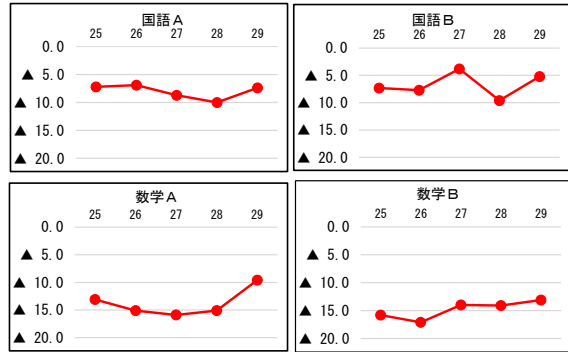
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く指導を充実した結果、学習の目標とまとめをノートに書く生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導をよく行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した。 ○ 数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の資質・能力の向上に向けた研修会を開催したり、デジタル教科書の活用によるICT教育を充実したりした結果、すべての教科で全国の平均正答率との差が縮まったと考えられる。

【夕張市の学力向上策】

- ◎ 教職員の資質・能力の向上に向けた研修会の開催
- ◎ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)導入による学校支援体制の強化
- ◎ 電子黒板とデジタル教材の活用によるICT教育の充実
- ◎ 幼・小・中・高・高等養護学校の連携による充実した教育の推進
- ◎ ALTの活用及びICTを活用した英語教育の拡充
- ◎ 炭鉱や農業の歴史等を学び、再生する郷土を学ぶ郷土学習の推進
- ◎ 地域の人材活用によるきめ細かな指導と支援の充実
- ◎ 特別支援教育支援員の活用による一人一人の教育ニーズに応じた指導や支援を図るための教育環境の整備
- ◎ Q-Uを活用したよりよい学級づくりと学力向上の推進
- ◎ 英語検定・漢字検定助成による学習意欲と基礎学力の向上

【平均正答率の全国との差の推移】

※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【生徒質問紙調査】

